

地球磁気圏X線撮像計画GEO-X (GEOspace X-ray imager) の現状

Status of the GEO-X (Geospace X-ray imager) mission

*江副 祐一郎¹、船瀬 龍^{2,6}、永田 晴紀³、三好 由純⁴、中嶋 大⁵、三石 郁之⁴、石川 久美¹、上野 宗孝⁶、山崎 敦⁶、長谷川 洋⁶、三田 信⁶、藤本 正樹⁶、川勝 康弘⁶、岩田 隆浩⁶、満田 和久⁷、平賀 純子⁸、笠原 慧⁶、佐原 宏典¹、金森 義明⁹、森下 浩平¹⁰、三谷 烈史⁶、沼澤 正樹¹¹

*Yuichiro Ezoe¹, Ryu Funase^{2,6}, Harunori Nagata³, Yoshizumi Miyoshi⁴, Hiroshi Nakajima⁵, Ikuyuki Mitsuishi⁴, Kumi Ishikawa¹, Munetaka UENO⁶, Atsushi Yamazaki⁶, Hiroshi Hasegawa⁶, Makoto Mita⁶, Masaki Fujimoto⁶, Yasuhiro Kawakatsu⁶, Takahiro Iwata⁶, Kazuhisa Mitsuda⁷, Junko Hiraga⁸, Satoshi Kasahara⁶, Hironori Sahara¹, Yoshiaki Kanamori⁹, Kohei Morishita¹⁰, Takefumi Mitani⁶, Masaki Numazawa¹¹

1. 東京都立大学、2. 東京大学、3. 北海道大学、4. 名古屋大学、5. 関東学院大学、6. JAXA 宇宙研、7. 国立天文台、8. 関西学院大学、9. 東北大学、10. 九州大学、11. 理化学研究所

1. Tokyo Metropolitan University, 2. University of Tokyo, 3. Hokkaido University, 4. Nagoya University, 5. Kanto Gakuin University, 6. ISAS/JAXA, 7. NAOJ, 8. Kwansei Gakuin University, 9. Tohoku University, 10. Kyushu University, 11. RIKEN

地球周辺の宇宙環境、特に太陽風変動に対する磁気圏の振る舞いの理解は宇宙惑星科学のみならず天文学や宇宙天気と分野横断的にその意義を増している。GEO-X (GEOspace X-ray imager) は世界初の地球磁気圏のX線を使ったグローバル撮像を目指す超小型衛星計画であり、太陽活動が上昇する2023-25年頃の打ち上げを目指している。本講演ではミッションが目指す科学目標および最新技術に基づく衛星・推進系・観測装置の開発検討の現状について報告する。

キーワード：地球磁気圏、グローバル撮像、X線

Keywords: Earth's magnetosphere, Global imaging, X-ray